

# (公社) 大分県建築士会 日田支部会報

発行：公益社団法人 大分県建築士会 日田支部  
 企画編集：広報部  
 文責：広報部長 秋 和夫

第16号 (令和 元年7月10日発刊)

## ■ 支部総会の報告 ■■■

### 令和元年度日田支部総会の報告 (公社)大分県建築士会日田支部広報部長 秋 和夫

令和元年05月18日午後4時30分より、日田駅前の寶屋本店に於いて、令和元年度(公社)大分県建築士会日田支部の通常総会が開催されました。

開会に先立ち、今回の市議会議員選挙で当選されました財津幹雄氏と原田裕文氏より、当選報告と建築士会の活動に対して激励のお言葉を頂きました。財津副支部長により、支部会員93名に対して、出席者32名と委任状29名による成立宣言の後、野村支部長の総会開会挨拶が行われました。



(挨拶をする野村支部長)

議長には戸田重利氏が選出され、総会審議については、第1号議案から第3号議案までの全てが可決されました。

#### 議事

- 第1号議案  
平成30年度事業報告及び収支決算承認の件  
会計監査報告
- 第2号議案  
令和元年度事業計画案及び収支予算案の件
- 第3号議案  
その他



(戸田重利議長による議案審議)

総会終了後の講演で、日田玖珠広域消防組合日田消防署署長で消防司令長の岩里安德氏による「災害は忘れる間もなくやってくる！～身近になった自然災害～」と題した講演が行われました。



(講演をする岩里消防署長)

日田玖珠管区内では、近年の火災件数が35~40件程発生し、救急件数は平成30年度が4,400で増加傾向にあり、80歳以上の高齢者の比率が高くなっています。

近年の災害に関しては、耶馬溪町の山崩れ災害に触れ、平成29年7月6日の小野柳野地区山腹崩壊や洪水災害の対策として、「備える」事を提唱します。日頃より、非常持ち出し袋や緊急時の連絡先メモ等を準備しておき、身近な人達により、「逃げる。非難する。」を共有する事を心掛けておいて貰いたいとの事でした。

引き続き、賛助会員を含めた35名で懇親会を開催しました。元支部長の藤原秀樹氏の乾杯で宴が始まり、今後の地域振興策で、熱い議論を交わしながら、親交を深めました。



(賛助会員との懇親会の様子)



## ■ 講習会の報告 ■■■

### 住家の被害認定調査技術者養成講習会の報告 (公社)大分県建築士会日田支部 広報部長 秋 和夫

令和元年05月14日(火曜日)午後1時30分より、公益社団法人大分県建築士会防災委員会主催で「罹災証明に必要な住家の被害認定調査に係る技術者養成講習会」が、日田市役所7階中会議室に於いて35名の参加で行われました。

講義は、大分県との協定を締結したことを受け、被害認定調査の基礎知識と調査業務のポイント等について、防災委員会の渡邊豊基副会長と堤寛委員及び藤原直樹副委員長によって行われ、その定義や損害割合の算出方法及び調査チームの編成と作業分担、判定方法について説明がありました。



その内容によると、居住のために使用している住家の被害認定は、全壊(50%以上)・大規模半壊(40%以上)・半壊(20%以上)・半壊に至らない(20%未満)の4区分で行われ、倉庫や空き家は非住家扱いとなるそうです。

2013年(平成25年)6月に改正された「災害対策基本法(S36年法律223号)」では、被災者から申請があったときは、市町村長は「罹災証明書」を延滞なく交付することが義務づけされましたが、実際に被災した地域現場では被災の地方行政の負担は予想以上に大きく、2016年(平成28年)4月14日に発生した熊本大分地震では、行政職員の不足問題や判定に対する不満等が出て対応が遅れてしまったようです。「罹災証明書」が無ければ、被災した建物の減免や被災住宅の修理・災害支援を受けることができないので、被災者にとっては大きな問題です。



講習会場の様子

最近地震や豪雨災害等による甚大な被害が発生しており、応急危険度判定や住宅相談等沢山の支援活動が必要になってきています。そのなかで住家の被害認定調査については、本来は被災自治体が行うこととなっておりますが、判定結果によっては、被災者の生活支援に大きな格差が発生することから公正な判定をする必要があります。責任感を以て建築士の資格を有する本会会員が、地域行政と連携し被災地支援の何らかのお手伝い出来ればと考えております。



■ 活動報告 ■■■

**建築士の日 住まいの無料相談会の報告**  
**(公社)大分県建築士会日田支部**

広報部長 秋 和夫

7月1日、日田市役所1階ホールにおいて、大分県建築士会日田支部の主催で、住まいの無料相談会が開催されました。(公社)大分県建築士会日田支部会員と日田市役所建築住宅課職員の10数名で対応しましたが、耐震改修やバリアフリー化に伴う補助金等の事で4名からの相談がありました。



先日の6月18日に発生した山形県沖を震源とする地震発生(M6.8)により、新潟県下越は(震度6強)を記録し、怪我負傷者28名おりましたが、安否行方不明人もなく、死者0名で大きな被害は出ませんでした。昨年の6月18日に発生した大阪北部地震(M6.1)で、大阪府高槻市(震度6弱)の小学校ブロック塀の倒壊で9歳の女の子が死亡し、倒壊したブロック塀が建築基準法に適合していなかったため、相談内容はブロック塀の安全性に関する問い合わせが10件近くありましたが、今回は介護改修や耐震の相談ばかりでした。



(相談会場の様子)

本年は、記録を始めた1951年以降で気象庁観測史上最も遅い6月26日の梅雨入り(平年より21日遅い)でした。27日以降は大雨が続いて九州南部で洪水や土砂崩れの被害が出ており、異常気象や地震など、多様化する自然環境への対応が大変な時代になってきました。

我々の住宅相談会が、災害の中でも安心して住みやすい家を維持していけるようなお手伝い出来るように頑張りたいと思っております。

■ 見学会の報告 ■■■

**令和元年度**  
**広瀬家・草野家保存改修工事見学会の報告**  
**(公社)大分県建築士会日田支部 広報部 秋 和夫**

令和元年6月25日の15時より、豆田町で工事が進められている国指定史跡である廣瀬家と、国指定重要文化財である草野家の工事現場の見学会が行われました。豆田地区の住民、本伝会会員、大分県建築士会会員及び行政職員など50名程度が参加し、設計監理者や工事担当者による説明を受けました。

■ 廣瀬家保存整備事業 ～主に解体工事  
設計監理者；NPO法人本物の伝統を守る会

■ 草野家住宅保存修理工事 ～主に組立工事  
設計監理者；公益財団法人  
文化財建造物保存技術協会

廣瀬淡窓の生家である廣瀬家は、延宝元年(1673)に初代五左衛門が、日田に移住したことに始まります。主屋は、安政3年(1856)に建設され、元治2年・慶応元年(1865)に西側、慶応3年(1867)に東側が増築されています。座敷は、天保4年(1833)に建設され、平成21年(2009)に修理されています。時代ごとに敷地を拡げて、建物が建設され、必要に応じて建て替えが行われてきた主屋は、時代の要請に応じたもので、廣瀬淡窓旧宅の一つの歴史でもあります。

今回の保存整備事業として、廣瀬家主屋は経年劣化による保存修理が行われており、日田を代表する商家廣瀬家の当時の構造や特徴を後世に伝えるための公開活用を目的に、旧家における建物のうち一番重要な役割を持つ北側主屋・座敷棟を破損状況に基づき修理を行うものです。史跡としての価値を損なわないよう、古絵図・古写真など史料や痕跡調査により、復元的手法を用いて保存修理を行うとともに、併せて耐震診断と耐震補強も施しています。

(配布資料より文面を抜粋して引用)



(廣瀬家保存整備見学会の様子)

草野家は、寛永18年(1641)に初代が豆田に居を構えたのを創始と伝え、元禄年間に現敷地の北半部に移り、四代目が分家して南の土地に屋敷を構えたのち、18世紀末に北側の本家が途絶えた後、六代目が合併しました。明和9年(1772)の豆田大火で屋敷は焼けたが、隠宅蔵と座敷蔵と現主屋仏間部の一部が焼け残り、主屋・家具蔵を東側の道路沿いに再建しました。その後、増改築を繰り返し、現在の住宅や南側の駐車場にも蔵が立ち並んでいましたが、昭和55年(1980)までに解体され、昭和58年(1983)に現住宅が建てられ、現在の屋敷構えとなりました。平成21年(2009)に重要文化財に指定された草野家の保存修理は、建築年代や修理履歴、破損状況により、建物ごとに修理方針が異なります。今回の保存修理と併せて耐震診断を行い、必要に応じて補強を施します。

(配布資料より文面を抜粋して引用)



(草野家保存修理見学会の様子)



(草野家屋根修理の様子)

現在の建物建設工事では、生産性を上げるためにコストダウンと職人不足を補う目的で、各企業やメーカーが競い合って省力化・利便性や長寿化を追求しており、手間のかかる伝統技法は存続しにくくなっています。その背景には、職人の低賃金や、独自の間違った技法の習得などのどうしようもない時代の流れによる社会的な背景があると感じています。今回の保存修理は、そのひとつひとつのデータを後世に伝えるための手段であり、建築に係る者が、当時の苦勞や考え方を残しておく必要不可欠なものなのです。

現実には、莫大な資金と維持費はもちろん、伝統技法を伝えるべき職人の高齢化と若手職人の不足と技量低下は打開策のない状態です。今回の見学会が、その解決策の一端となることを期待しています。



《あとがき》

支部会報は、公益社団法人大分県建築士会ホームページの中で、支部紹介の日田支部ページにも掲載されています。日田支部ページには、連絡事項やこれまでの活動報告など、情報が満載ですので、ぜひ、見て下さいね。(広報部長 秋より)

※日田支部のHPはこちら

<http://www.oita-shikai.or.jp/shibu/hita/>